

一般社団法人グリーンピース・ジャパン事務局長
サム・アネスリー殿

グリーンピース・アフリカ暫定事務局長
ラギ・トリバウ殿

2020年8月20日
長鋪汽船株式会社
代表取締役 長鋪慶明

拝啓 初秋の候、貴法人ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

8月14日に貴信、確かに拝受いたしました。

7月25日に弊社の子会社である OKIYO MARITIME CORP.が所有するばら積み貨物船 WAKASHIO がモーリシャス沖合で座礁、8月6日に燃料油 1,000 トン余りが流出し、モーリシャス政府ならびに地域住民の皆様や関係各位に多大なご迷惑をおかけ致しております。

本船の船主として責任を痛感し、責務を全うするため、現地での油回収にモーリシャス政府並びに地域住民の皆様、関係各位のご協力のもと、全力で取り組んでおります。今回の事故で発生した損害につきましては、引き続き法律に則り、日本船主責任相互保険組合とともに誠意をもって対応させていただきます。

貴信にてご指摘いただきました点につきましては、貴重なご意見、ご注進として真摯に受け止めさせていただき、船主として法令に則り、事故原因の究明、流出油の回収、モーリシャスの貴重な自然環境回復に積極的に対応する等、適切に対処いたします。

事故を起こした航路及び化石燃料につきましては、いただいたご意見を踏まえ、今回のような事故を二度と起こさないための対策を講じる所存です。

今回の事故に際し、弊社は2名の社員を派遣し、当局との連携、情報収集、油濁拡大防止、流出油回収の支援を行っております。今後も追加派遣や支援を検討して参ります。引き続き、弊社は、モーリシャス及び日本の関係当局、(株)商船三井と連携して、早期の事態解決に向けて取り組みます。

モーリシャスの貴重な自然や環境に大きなダメージを与えてしまいましたことを教訓として、今後はより一層、自然環境への負荷の軽減、再生可能エネルギーの活用などを念頭に、サステナビリティに配慮した事業運営を心掛け、取り組んでまいります。

敬具